

議会だより

発行

上峰町議会

〒849-0123

上峰町大字坊所383-1

人口 9,388人 男4,483人

女4,900人

【3月末現在】

平成22年4月26日発行

面積 12.79Km²

☎ 0952 (52) 2181

編集 議会広報編集委員会

印刷 (株)音成印刷

☎ 0952 (73) 4113



上峰小学校入学式

平成22年3月定例会

- ◎議案審議から……………P 2～5
- ◎予算特別委員会報告…P 6～8
- ◎平成21年度補正予算……………P 9
- ◎平成22年度一般会計予算…P10～11

- ◎議案賛否表……………P12
- ◎一般質問……………P13～19
- ◎議会活動……………P20～21

平成22年

臨時会、定例会

平成22年1月27日に第1回臨時会開催、平成22年第1回定例会は3月5日から3月19日まで開催しました。1号議案から33号議案まで平成21年度補正予算・条例改正・請願・委員会報告・決議案を含めて審議しました。平成22年度一般会計予算は特別委員会で、厳しい財政をふまえ5日間慎重に審議しました。また、平成22年3月26日に第2回臨時会を開催し、34号議案から37号議案を審議し原案通り可決しました。

議長の出番



議長 吉富 隆

花の便りも聞かれ、野も山も人の営みも、にわかに動き出す季節、皆様には爽やかな日々をお過ごしのことと存じます。

さて、平成22年第1回定例議会は3月5日から19日までの15日間の会期にて年度を締める補正予算案や平成22年度の町の方向性を定める当初予算案などを含め30議案をもって開会しました。

武廣町長が就任して以降

色々な意味でマスコミを賑わす以外、これといった町政の成果もないまま過ぎ去った1年であり、真の意味での、新たな町づくりをなす予算案については、議員全員で構成する特別委員会を設けて集中審議を行いました。

厳しい財政であることは百も承知であることから議員報酬の継続削減と、福祉・教育への充実を図ろうとする議会に対してガチンコだと考える武廣町長とは、議会としての二元代表制の原理に鑑みても政策面においても隔たりや距離感はある

定できず、いく度となく討論・調整を図つての採決となりました。すでに承知のように今議会では、副町長選任案・高齢者長寿祝い金の減額案・特別職報酬の一部改正案など5議案については、財政状況が厳しいため必要性や新たな歳出を疑問視する観点から全員一致でこれを否決しました。

また、一部報道で削減に逆行すると指摘のあった副町長の給料及び教育長の給料の一部改正案については後日、臨時議会にて20%削減をし、歳出削減の一助に至っております。

さまざまな形で町民ニーズを的確にとらえ、議会をわかりやすく町政に反映することが必要と考えます。今議会において「上峰町議会基本条例制定に関する決議」をし、議会の機能強化と、町民に開かれた、より透明性の高い議会を目指し、議会改革に取り組み、町民の皆様の負託を受けた私たち議会議員は、その責務と役割の重大さを深く自覚し、清新で活発な議会活動に取り組み決意であります。

これからの町政・町議会にこれまで以上に関心を持っていただき、町民の皆様が積極的にご意見などを寄せていただければ幸いです。存じる次第であります。

ごみ処理施設均等割の調整

単位：千円

	H21	H22	H23	H24
みやき町	66,824	60,884	51,974	37,124
鳥栖市	22,274	25,244	29,699	37,124
上峰町	22,274	25,244	29,699	37,124
合計	111,372	111,372	111,372	111,372
逓減率	100%	80%	50%	0%

介護保険事業均等割の調整

単位：千円

	H21	H22	H23	H24
鳥栖市	36,647	40,312	45,809	54,971
基山町	36,647	40,312	45,809	54,971
みやき町	109,942	98,947	82,456	54,971
上峰町	36,647	40,312	45,809	54,971
合計	219,883	219,883	219,883	219,884
逓減率	100%	80%	50%	0%

右記、2議案はいずれも平成22年度から、みやき町合併による構成団体の負担金割合を変更する内容です。

(全員賛成)

鳥栖・三養基西部環境施設
組合規約の変更(ごみ処理施設)
(平成22年4月1日施行)
(全員賛成)

鳥栖地区広域市町村圏組合
規約の変更(介護保険)
(平成22年4月1日施行)
(全員賛成)

奇跡おこらず

副町長人事案

全員反対 他に4議案

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償の支給額の特例に関する条例の改正

(全員反対)

非常勤特別職の支給特例額を、平成22年4月から平成23年3月まで、10%削減から5%削減に改正するもの。

反対討論

この条例は規則に規定のない特別職及び任務が重複する者に対して報酬を支払うことになっているので反対をします。

上峰町長及び副町長の給料の支給額の特例に関する条例の改正

(全員反対)

副町長の給料の支給額の規定を、15%削減から10%削減に改正するものです。期間は平成22年4月から平成23年3月まで。

反対討論

町長給与削減時に財政再建のため、議会はみんな痛みを分かち合って取り組むよう言ってきました。厳しい財政状況を考えて、今はみんな我慢をして財政再建を進めるべきと考えるので反対します。

上峰教育委員会教育長の給料の支給額の特例に関する条例の改正

(全員反対)

教育長の給料の支給額の規定を、15%削減から10%削減に改正するものです。期間は平成22年4月から平成23年3月まで。

反対討論

財政健全化を考える上で、町長給与50%カットに対し、教育長10%カットは整合性がないと思います、よって反対します。

長寿祝い金支給条例の改正

(全員反対)

現在長寿祝い金は、節目の年齢時に支給をしておりますが、その支給額を改正するものです。

1	満70歳(古希)の者	8千円を5千円
2	満77歳(喜寿)の者	1万5千円を1万円
3	満88歳(米寿)の者	2万5千円を2万円
4	満99歳(白寿)の者	3万5千円を3万円

反対討論

今年度は特別職の報酬、教育長の給料アップなどいろいろあります。長寿祝い金は、お年寄りが本当に楽しみにしておられます。そんな中、お年寄りの長寿祝い金を削ることとは矛盾しているので反対します。

副町長の選任について

厳しい財政のなか、副町長人件費年間1千300万円強は、財政健全化に逆行しているため、現況は有能な課長を活用すべきである。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正
(平成22年4月1日より)

(全員賛成)

人事院勧告に基づくものです。職員の超過勤務の一定時間を越えた時間について、割増手当分を休暇取扱いできる制度です。

職員の給与に関する条例の改正
(平成22年4月1日より)

(全員賛成)

職員の超過勤務時間について、月に60時間を超えた場合にはその超えた時間について、手当を割増支給することを規定する。

一般職給与の特例に関する条例の改正
(平成22年4月1日より)

(全員賛成)

一般職員の給与の支給額を、平成21年度は4%(管理職6%)削減していましたが、平成22年度においては2%(管理職3%)削減する。

乳幼児医療費の助成条例改正

(全員賛成)

総合病院において、診療料などに一部負担をしていたものが一度の負担で済むようになりました。

長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の改正
(平成22年4月1日より)

(全員賛成)

町税や料金等のコンビニ収納業務を平成22年度から開始するため、収納事務業務について長期継続契約できるようにする。

農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の改正
(平成22年4月1日より)

(全員賛成)

事業所の下水処理施設使用料金の改正です。



第1回定例会の否決議案を第2回臨時会で修正可決

引き続き給料減額

(全員賛成)

期間は平成22年4月から平成23年3月まで。

20%減	副町長 教育長	15%減	議会議員
------	------------	------	------

特別職で非常勤のもの、報酬及び費用弁償の支給額の特例に関する条例の改正

(全員賛成)

現在支給しているのを、平成23年3月31日まで1年間延長する。

特別職で非常勤のもの、報酬及び費用弁償に関する条例の改正

(全員賛成)

報酬等を支払うべき非常勤特別職の名称等を正規の名称に改める。

100条調査特別委員会

全員賛成で設置議決

委員長 井上 正宣
副委員長 岡 光廣

記

一、調査事項

(1)上峰町職員採用試験に関する事項

(2)電気通信事業法に関する事項

(2)電気通信事業法に関する事項

る事項

調査権限

本議会は、一に掲げる事項の調査を行うため、地方自治法第100条第1項（及び同法第98条第1項）の権限を上峰町職員採用試験及び電気通信事業法等調査特別委員会に委任する。

調査期限

調査特別委員会は一に掲げる調査が終了するまで閉会中もお調査を行うことができる。

調査経費

本調査に要する経費は150万円以内とする。

請願

総務厚生常任委員会付託

(全員賛成)

件名

大字堤地区への火災時等緊急サイレン設備の設置

紹介議員

井上 正宣

主な意見

上峰町の地形が南北に細長いことにより、大字堤地区ではほとんどサイレン音が聞き取れない状況であり、団員の出勤に支障をきたしております。火災発生時における消防団の迅速な活動を確保するために、大字堤地区へのサイレン設備の設置を要望いたします。

請願者 上峰町消防団

団長 大坪 安彦

副団長 中山 英樹

副団長 手塚 邦明

請願審査報告

(採択)

振興常任委員会

委員長 矢動丸 博文

件名

請願第6号排水路整備について

主な意見

土地改良区、上峰町が一体となり整備を進めるべきであるが、補助事業を利用すること、また、雑草については地区で対応されたい。

上峰町

議会基本条例制定

(全員賛成)

提出者 井上 正宣
賛同者 漆原 悦子

岡 光廣
矢動丸 博文

賛同者 原 槿 和彦
松田 俊和

中山 五雄
伊東 盛雄

上峰町議会基本条例制定に関する決議

記

地方分権改革(地域主権)により、地方公共団体の自己決定と責任の範囲が一層拡大する中、二元代表制の一翼を担う議会は、政策立案、行政の監視、情報公開などわかりやすい議会を作るための活動が求められている。

このような中、上峰町議会においては下記のとおり遵守事項を設け、住民の負託に応えられる議会を築いていく。

- ・積極的な情報公開
- ・議会活動への町民の参加の推進
- ・自由討議の推進
- ・議員自身の自己研鑽と資質の向上
- ・公正性と透明性の確保
- ・政治倫理の遵守

以上決議する。

平成22年3月19日

上峰町議会

ていく。

平成
22年度

予算特別委員会

審査報告書

委員長 岡 光 廣

平成22年3月5日の本会議において、本委員会に付託された議案第25号平成22年度上峰町一般会計予算について、3月8日、9日、10日、11日、12日の5日間、委員会を開催したので、その経過および結果について報告いたします。

まず、採決の結果を申し上げます。

質疑終結のあと直ちに採決をとり、全員賛成をもって原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

つぎに、審議の過程での主な質疑・意見および要望は下記の通りです。

今回の予算案については、一般的に執行部の意見調整ができておらず、今後は各課協議を密にし意見統一を図り、業務遂行に努めるべきとの全体的意見があった。

歳入

Q 町税の落ち込みがあるが、内訳の説明を求める。

A 前年比8千21万5千円の減ですが、宅地造成および家屋の新築などで固定資産の一部増加もありますが、主に景気低迷による法人町民税額が前年比

約6割の減収。

Q 国有提供施設所在市町村交付金は、増額するよう交渉、陳情に努力すること。

A 関係機関への要請、陳情に努めます。

Q ふるさと納税については、もっとPRに努めること。

A ホームページなどでPRに努めます。

Q 過年度滞納については、不納欠損とならないように努力を求める。

A 佐賀県滞納整理推進機構と連携をとりながら、町独自でも滞納者に対して分納誓約や差押えなどにより、時効の成立がないように徴収に全力を挙げていきたい。

Q 物売り払いは、ポータルサイトなどを利用してPRに努めること。

A 少しでも高く売る方法を研究します。

Q ひとり親家庭医療費助成は、診療機関での現物給付を県に要望して欲しい。

A 県内の市町の動向を見ながら近隣市町と足並みを揃えたところで要望していきたい。

Q 権限委譲交付金の対象となる事務件数は、どの位あるのか説明を求める。

A 21件で72万円です。

Q 住宅使用料の滞納については、速やかに住宅運営委員会を開催して対応すべきである。

A 速やかに住宅運営委員会を開催いたします。

Q 住宅使用料の滞納状況説明を求める。

A 平成20年度以前の滞納状況は約1千万円の繰越分があります。また、今年度の滞納の最終見込み額としては約970万円です。

Q 滞納者については徴収に向き減額に努めます。

A 給食費の徴収については、時効などの措置にならないよう分納誓約書などを整備し努力を求める。努力します。

Q 町有地の有効活用、売却等税収増に努めること。

A 売却可能物件の処分に努めます。

歳出

総務課

Q 区長会代表手当は、条例との整合性を図ること。

A 区長設置に関する規定の中で、区長代表の位置づけを明確にし、また、その報酬の支給規定を明確にします。

Q 時間外手当は、年間業務量を考慮して予算化するべき。

A 時間外勤務は極力抑えるように努力し、これまでの実績を考慮して予算の配分をしています。

Q 防犯灯設置は、犯罪率の低下に効果があるといわれる青色蛍光灯の採用を検討されたい。

A 青色蛍光灯について、その価格などを調査比較しながら、防犯灯の新設分から検討していきたい。

企画課

Q 西鉄バス鳥栖・神埼線負担金の説明を求める。

A 利用者の激減により、西鉄はバスを小型化し経費節減を図ったが、それでも赤字が増加している。

Q すべての施設において、光熱水費は節約に努めること。

A 節約に努めていきます。

税務課

Q コンビニ収納については、利便性の向上には有効な手段だが、1件あたり60円の手数料がかかることについても周知を図ること。

A 町の広報誌（4・5月号）にコンビニ収納の内容と併せて、手数料の町負担についてはお知らせします。納税通知の際にも各個人に周知を図っていきます。

住民課

Q ヘリコプターの騒音測定は、測定箇所の変更を検討して欲しい。

A 県との調整を図り変更の検討をしたい。

Q 戸籍の電算化は、早急に着手すべき。

A 戸籍の電算化は事業費が非常に大きいため、早期に着手できるようリース契約など安価でできる方法を検討し、財政係と協議を行いながら進めていきます。

Q 資源ゴミの収集は、分別の仕方などをわかりやすく広報するよう求める。

A HPや広報誌等で分かりやすい分別方法の周知を図ります。

福祉課

Q 衛生班長手当は、条例との整合性を図ること。
今後条例との整合性を図ります。

Q 社会福祉協議会補助金の削減内容について説明を求める。

A 社会福祉協議会へ地域包括支援センター業務が委託されることなどで補助金を削減しました。

Q 福祉関係の予算は、弱者救済の意味もあるので削減すべきではない。

A 町財政状況を考慮し、できる限り福祉関係は充実したい。



予算特別委員会

建設課

Q 町道雑草伐採の回数、単価、時期の検討を求める。

A 年に2回行っています。単価は平成21年度実績で㎡当り約135円です。来年度は早期発注に努めます。

子ども安全課

Q 青色灯パトロールの実施時間、行程は再考すべきではないか。

A 最も効果的な時間帯および行程での実施を検討します。

健康増進課

Q 新型インフルエンザの接種対象の説明を求める。

A 接種対象：国の「新型インフルエンザワクチン接種の基本方針」が平成21年12月15日付けで改定され、優先接種対象者に加えて、健康な成人の方も接種対象となった。

*佐賀県は、平成22年1月21日から接種可能

産業商工課

Q 有害鳥獣駆除委託料について、委託先などの説明を求める。

A 鳥獣による農作物への被害防止のため、猟友会に駆除の委託をしています。

Q 森林基幹道九千部山横断線の災害復旧については、どのように考えているのか。

A 町の財政状況を考えますと、かなり厳しいと思っています。

A 鳥栖農林事務所において、概算の設計金額は、約1千160万円の事業費となっています。県単事業で災害復旧工事をすると町が40%の負担となり、また実施設計費も町負担となりますので、早急に実施することは困難だと考えています。

教育課

Q 学校給食の栄養士は、嘱託で対応せずに正規職員ですべき。

A 平成22年1月より臨時から嘱託職員に改善したばかりであり今後協議をしていきます。

Q 学校給食民営化の効果説明を求める。

A 経費的には、民間委託になり直営時の燃料費、消耗品が無くなりその分の経費がいらなくなりました。

Q 小・中学校修繕費の内訳説明を求める。

A 小・中学校の教材備品（楽器など）の修繕費です。

生涯学習課

Q 町民プールは、利用者も多いので開放の検討をすべき。

A 平成21年度町民プールの利用者は4千777人で短期間の利用期間にしては利用度が多い。平成22年度は十分検討していきたい。

Q 小学校運動場照明のスイッチは、コイン投入式の検討をすべき。

A 利用者が早くスイッチを入れたり、遅くまで照明が点灯しているとのことですが、利用者には使用時間を厳守するよう指導していきます。なお、コイン式については、予算的な面もあり十分考慮しながら検討していきたい。

文化課

Q 堤土塁歴史公園は、一般の公園と違い傾斜地が多く面積も広いので、委託料については考慮をお願いしたい。

A 町が行っている公園管理、草刈など同種の業務委託料について面積・回数・作業内容の調査を行い、土塁公園の特殊な実状を考慮し、委託料の是正に向け検討し補正予算を計上したいと考えています。

一般会計

1億1,664万6千円増額して
総額34億327万7千円となる
 補正予算の主なものは…

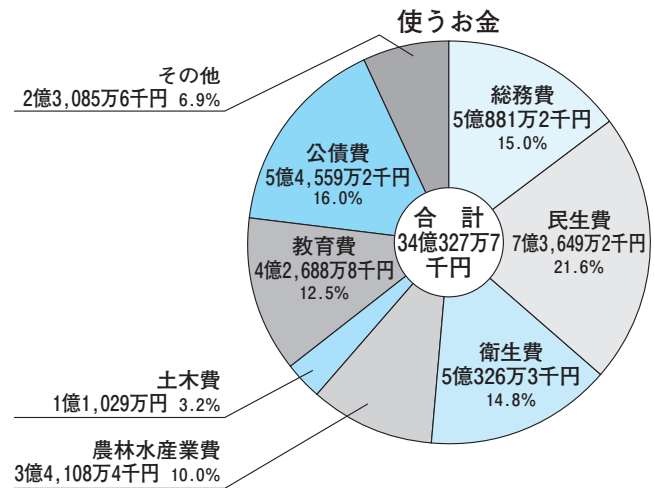
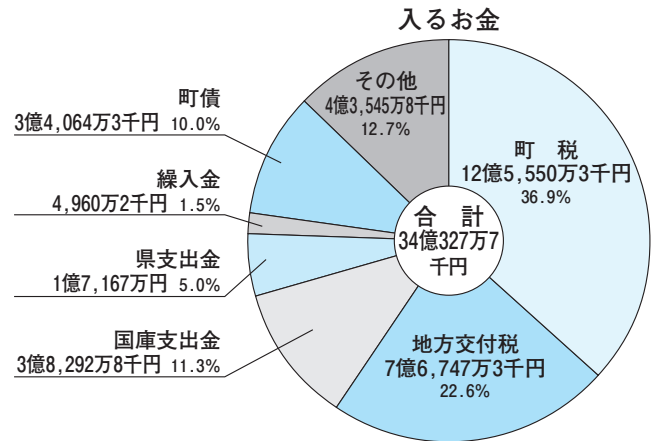
歳入

- ◎国庫支出金
 地域活性化・公共投資臨時交付金
 ……1,738万8千円
 地域活性化・きめ細かな臨時交付金
 ……4,324万5千円
 こども手当システム導入補助金
 ……361万円
- ◎諸収入
 市町村振興宝くじ収益金配分金
 ……1,454万9千円
- ◎町債
 減収補てん債…7,100万円

歳出

- ◎財政調整基金積立金
 ……1億3,122万4千円
- ◎通学福祉バス運営委託
 ……1,575万円
- ◎こども手当システム導入委託
 ……361万円
- ◎乳幼児医療費助成 ……536万4千円
- ◎町道補修等工事…1,500万円
- ◎用悪水路整備工事…700万円
- ◎小学校プール防水工事 ……493万5千円
- ◎ナイター施設改修工事
 ……604万8千円

本会期までの累計



※町債とは借入金、公債費とは借入金の返済金です。
 ※国・県支出金は補助金です。

特別会計

国民健康保険特別会計 159万7千円を増額し、総額9億4,824万4千円となる
老人保健特別会計 310万2千円を減額し、総額531万9千円となる
後期高齢者医療特別会計 72万5千円を減額し、総額8,446万2千円となる

土地取得特別会計 1万9千円を増額し、総額152万6千円となる
工業用地取得造成分譲特別会計 4万1千円を増額し、総額486万9千円となる
農業集落排水特別会計 156万5千円を増額し、総額5億6,225万9千円となる

一般会計予算

万6千円

歳出

民生費

8億594万円 (24.0%)

社会福祉費	3億8,883万9千円
児童福祉費	4億47万7千円
国民年金事務取扱費	1,662万4千円

農林水産業費

3億5,804万6千円
(10.7%)

農業費	3億5,786万6千円
林業費	18万円

土木費

6,311万6千円 (1.9%)

土木管理費	2,849万8千円
道路橋梁費	554万9千円
河川費	64万1千円
住宅費	1,594万9千円
都市計画費	1,247万9千円

その他

7億580万5千円 (20.9%)

議会費(議会活動)	5,823万1千円
消防費	1億3,039万8千円
災害復旧費	2万円
公債費	5億541万2千円
予備費	1,174万4千円

総務費

3億4,008万8千円 (10.1%)

総務管理費	2億3,105万円
徴税費	7,066万6千円
戸籍住民基本台帳費	1,982万8千円
選挙費	1,461万7千円
その他	392万7千円

衛生費

4億9,150万6千円
(14.6%)

保健衛生費	2億130万円
清掃費	2億8,077万3千円
上水道費	943万3千円

商工費

2億6,232万6千円 (7.8%)

商工費	2億6,009万6千円
商工観光費	223万円

教育費

3億3,496万9千円
(10.0%)

教育総務費	9,315万8千円
小学校費	2,984万7千円
中学校費	2,587万8千円
幼稚園費	1,439万3千円
社会教育費	1億1,223万1千円
社会体育費	5,946万2千円

歳入

平成22年度

33億6,179

33億6,179万6千円

町 税	12億4,992万7千円
地方交付税	7億7,796万7千円
分担金及び負担金	5,236万8千円
使用料及び手数料	6,663万7千円
国庫支出金	2億6,378万8千円
県 支 出 金	1億9,007万4千円
繰 入 金	5,890万5千円
町債(借入金)	4億4,851万6千円
そ の 他	2億5,361万4千円



庁舎から鎮西山を望む

特 別 会 計

国民健康保険	農業集落排水	土地取得	工業用地取得造成分譲
8億8,539万1千円 【歳入】 ・保険税 1億9,341万8千円 ・国庫支出金 2億818万7千円 ・療養給付交付金 5,545万9千円 ・前期高齢者交付金 2億2,540万円 ・共同事業交付金 1億108万6千円 ・その他 1億184万1千円 【歳出】 ・保険給付費 6億1,620万4千円 ・後期高齢者支援金 8,263万4千円 ・共同事業拠出金 1億108万8千円 ・その他 8,546万5千円	5億1,830万3千円 【歳入】 ・使用料及び手数料 1億2,300万円 ・繰入金 2億8,538万4千円 ・町債(借入金) 1億330万円 ・その他 661万9千円 【歳出】 ・総務費 1億6,787万7千円 ・公債費 3億4,222万6千円 ・その他 820万円	1万4千円 【歳入】 ・財産収入 1万1千円 ・その他 3千円 【歳出】 ・土木費 1万3千円 ・予備費 1千円 後期高齢者医療 8,078万2千円 【歳入】 ・保険料 6,379万円 ・繰入金 1,668万4千円 ・その他 30万8千円 【歳出】 ・広域連合納付金 7,958万4千円 ・その他 119万8千円	2億7,192万3千円 【歳入】 ・繰入金 2億7,191万9千円 ・その他 4千円 【歳出】 ・工業用地取得造成事業費 2億7,192万3千円 老人保健 43万1千円 【歳入】 ・繰入金 21万4千円 ・その他 21万7千円 【歳出】 ・医療諸費 22万3千円 ・その他 20万8千円

平成22年 第1、2回臨時会・第1回定例会 議案賛否表

議案番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			松田 俊和	原 積 和彦	松尾 仁	漆原 悦子	中山 五雄	矢動丸博文	井上 正宣	伊東 盛雄	岡 光廣
第1回臨時会	1 鳥栖・三養基西部環境施設組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 鳥栖地区広域市町村圏組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1回定例会	3 上峰町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	4 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償の支給額の特例に関する条例の一部を改正する条例	否決	×	×	△	×	×	×	×	×	×
	5 上峰町長及び副町長の給料の支給額の特例に関する条例の一部を改正する条例	否決	×	×	△	×	×	×	×	×	×
	6 上峰町教育委員会教育長の給料の支給額の特例に関する条例の一部を改正する条例	否決	×	×	△	×	×	×	×	×	×
	7 上峰町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	8 上峰町一般職の職員等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	9 教育振興基金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	10 上峰町工業用地取得造成分譲事業減債基金条例を廃止する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	11 上峰町工業用地取得造成分譲特別会計条例を廃止する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	12 上峰町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	13 上峰町長寿祝い金支給条例の一部を改正する条例	否決	×	×	△	×	×	×	×	×	×
	14 上峰町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	15 上峰町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	16 第三セクター等改革推進債の起債に係る許可の申請について	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	17 上峰町副町長の選任について	否決	×	×	△	×	×	×	×	×	×
	18 平成21年度上峰町一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	19 平成21年度上峰町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	20 平成21年度上峰町老人保健特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	21 平成21年度上峰町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	22 平成21年度上峰町土地取得特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	23 平成21年度上峰町工業用地取得造成分譲特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	24 平成21年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	25 平成22年度上峰町一般会計予算	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	26 平成22年度上峰町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	27 平成22年度上峰町老人保健特別会計予算	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	28 平成22年度上峰町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	29 平成22年度上峰町土地取得特別会計予算	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	30 平成22年度上峰町工業用地取得造成分譲特別会計予算	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	31 平成22年度上峰町農業集落排水特別会計予算	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	32 上峰町議会議員の議員報酬の支給額の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	33 上峰町乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	— 上峰町職員採用試験及び電気通信事業法等の調査に関する決議	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	— 排水路整備に関する請願について	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
— 予算特別委員会審査報告書	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
— 上峰町議会基本条例制定に関する決議	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
第2回臨時会	34 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	35 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償の支給額の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	36 上峰町長及び副町長の給料の支給額の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	37 上峰町教育委員会教育長の給料の支給額の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	△	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対

討
論
採
決

一般質問

そこが聞きたい



議員
町の安全安心について、
場外券発売売場の進捗状況
とこれからの対応は。



中山 五雄 議員

安全安心な町づくりは

答 安全安心運動に努めます

武廣町長

一戸一灯運動の加入戸数の増加と反比例する形で被害は少なくなっている。町の安全安心運動に努めてまいりたい。

議員

12月以後に町長はウエルビジョン九州の方に行かれたのか。また意見書などを提出されたか。

武廣町長

お会いするたびに口頭で要望を重ねてまいりました。今後は環境対策委員会における要望が必要であると感じております。

議員

口頭で言っても残らない。早急に対応手続きを取るべきと思う。

武廣町長

すべて文書で出すという視点もあつたが、一向に動きがないので文書を出すことで動きが違ふと思うので文書を出して要求したいと思います。

議員

町民の安全確保のためにも町長はじめ議会が一丸となって早急にウエルビジョン九州に意見書を提出し要望を聞いてもらうようにす

るのが務めと思うが。

武廣町長

議会と一体となって取り

組んでいく必要があると思います。

議員

財政について

答 実効性のある計画策定

議員

財政の健全化に向けての改革は。町財政検討委員会はどうなっているのか。課の統廃合で参事ができると思うがその対応は。

武廣町長

機構改革は参事も含めて議論検討しています。

議員

三養基西部環境組合の負担金平成22年度2千524万4千円、平成24年度3千712万4千円、ホリカワ産業跡地2億7千万円の借りがえ、いろんな面で支出がふえてくるが今後の財政改革は。

武廣町長

実効性のある計画の策定を行っていきたくと考えています。

議員

いじめはないか、不登校

の生徒はいないか。教育委員の選任は。

大隈教育課長

小・中学校にいじめはあつていません。不登校生徒の指導支援に取り組んでいます。

武廣町長

教育委員の選任は早い段階で。

議員

今後もしじめがないよう目配り気配りのほども教育長にお願いします。よい先生に来てもらえば子供たちの将来にもプラスになると思うが。

吉田教育長

私はできないとかそういうことのないような教師に育つよう指導していきます。

一般質問

町の行財政改革は

答 今年から総合計画を策定



伊東 盛雄 議員

武廣町長

行政計画の根幹である総合計画を策定、管理、進行するために、財政関連計画として重要な中期財政計画を策定することによって、実効性のある財政関連を軸

に計画行政を進めていかなければならないと思っております。今年から総合計画を策定するわけですが、整合性をしっかりと考え、財政健全化の工程表も考えています。

議員

行政改革として課の統廃合は。

武廣町長

職員数75名の中で3分の2を役職者が占めているという形を普通のあり方に変えていくために、現在検討を進めている段階です。

議員

平成22年度予算における財政改革の基本的な考え方は。

武廣町長

町民へのサービスの提供を維持し、かつ財政の健全化、安定化というものを図るために、基本的には、極力新規の事業を行わず、起債を伴う事業を控えるという形で予算査定を行いました。

議員

中・長期の財政計画は。



企画課

滞納対策は

答 差押えをします

議員

町独自の滞納処理の方法はどのようになっているか。

白濱税務課長

佐賀県の滞納整理推進機構による処理件数および金額は平成21年度引受額1千9万7千900円で収入額627万5千円、(住民税) 固定資産税、国保税、軽自動車税等については引受額373万円、収納済額104万3千円、平成21年度257件の滞納の督促を出し佐賀県滞納整理推進機構に引き続くという内容の

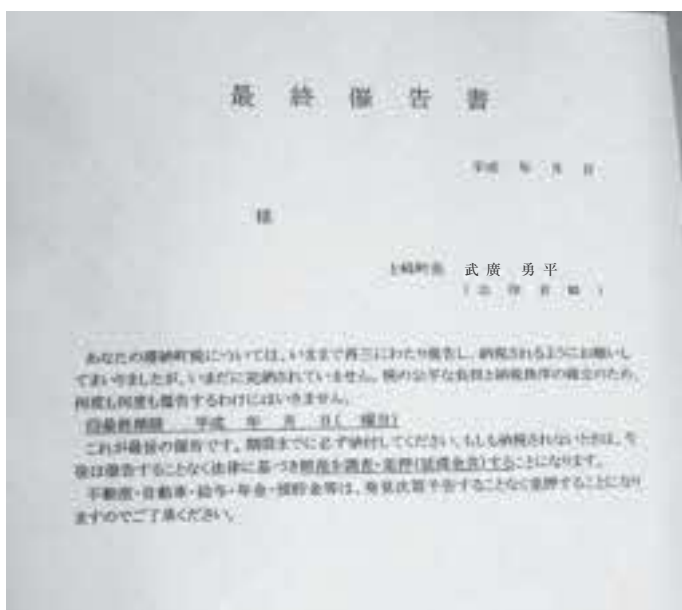
予告をし出しました。

議員

町の滞納は町税・国保税の合計で約1億5千万円、そのうち約半分が固定資産税で7千400万円あります。まず差し押えて分納誓約をとり、分納したら競売はしないとすべきでは。

白濱税務課長

私も研修でまず差し押えをしなさいと指導されていますので、そういう方向で努力します。





漆原 悦子 議員

町の借金130億円の報道は

答 報道は間違い、実際は95億1,100万円

議員

今年2月7日のテレビでは、財政難で各種行事の中止や町の借金130億などと、全国放映されました。また老人福祉センターの風呂の全面休止など住民サービス低下となる平成22年度方針が数多く出されています。町長の考えは、北島企画課長

町の借金総額は平成21年度末で95億1千100万円。

議員

町長は施政方針の中で、情報の共有と相互理解を深めることは欠くことができないとあるが、中央公園12

中央公園整備事業

項目	金額	備考
総事業費	1,408,000千円	
補助金	754,000千円	防衛省
一般財源	654,000千円	
(うち起債)	563,000千円	
(起債の未償還額)	平成20年度決算 330,000千円	

おたっしや館建設事業

項目	金額	備考
総事業費	501,500千円	
補助金	158,100千円	日本財団
借入金	343,400千円	町債務負担
(借入金の未償還額)	平成20年度決算 251,338千円	

億、おたっしや館3億の借金報道の根拠は、江頭総務課長

一部違った報道がなされたことは事実です。今後はきっちりした窓口対応をしていきます。

武廣町長

テレビ取材内容は、マスコミなどに聞いていただければと思います。

おたっしや館の風呂は、民間施設もあるので、代替できるのではないかと考えています。福祉の中核機関として交流人口を図り、快適なおたっしや館運営を進めていきたい。

学校教育新年度の取り組みは

答 午前のパトロールは各種団体等へ移行

議員

12月議会後の学校給食の進捗状況および新年度の取り組みは、大隈教育課長

4月からの学校給食食材は民間委託前の業者に打診をし、引き受けていただき、納入場所佐賀市久保塚までの無料配達・従前の単価で納入していただけることになりました。事務処理は教育委員会で対応します。

川原子ども安全課長

平成22年度の校内安全パトロールは、保護者の負担軽減を図り、午前をボランティア形態へ移行し、午後を保護者でやってもらうことに協議の結果なりました。

上峰町学校給食物資 納入契約先一覧

	契約物資	前々年度契約実績	平成22年度契約先	住所	産地等
1	青果物資	八谷商店	(株)坂本ストアー	みやき町原古賀	上峰産・三養基産・県産
2	肉物資(牛肉)	松本精肉店	松本精肉店	久留米市大石町	県産・国産
3	肉物資(豚肉)	石丸食肉産業(株)	石丸食肉産業(株)	みやき町原古賀	県産・国産
4	肉物資(鶏肉、食肉加工品)	(有)フレンドリー	(有)フレンドリー	みやき町市武	県産・国産
5	鮮魚	(株)坂本ストアー	(株)坂本ストアー	みやき町原古賀	水揚げ先(日本・外国)
6	豆腐	立石豆腐店	立石豆腐店	吉野ヶ里町三津	県産
7	竹輪・蒲鉾	六田竹輪蒲鉾企業組合	六田竹輪蒲鉾企業組合	みやき町市武	県産・国産
8	こんにゃく	野口こんにゃく	野口こんにゃく	みやき町白壁	県産・国産
9	調味料	(有)白井商店	(有)白井商店	上峰町坊所	国産
10	製油	中島製油工業所	中島製油工業所	みやき町市武	県産・国産
11	ヤクルト	佐賀県ヤクルト販売(株)	佐賀県ヤクルト販売(株)	佐賀市嘉瀬町	国産
12	パン、一般物資	佐賀県学校給食会	佐賀県学校給食会	佐賀市卸本町	三養基産・県産・国産・輸入品
13	一般物資	九州食品(株)	九州食品(株)	佐賀市嘉瀬町	県産・国産・輸入品
14	牛乳	明治乳業(株)	明治乳業(株)	八女市	県産

町財政・行政面は

答 健全化の工程表を作成



議員 松田 俊和

改革を検討していると発言されたが進捗は、江頭総務課長

一つの案としては示されており、4月以降にも十分検討され実行に当たります。

武廣町長

議員 町の財政・行政面に対する今後の方針は。

武廣町長

今後、健全化の工程表を作成していく事に力を尽くしていきます。また、財政検討委員会などにより、事務事業の洗い出しをしていきます。

議員

昨年12月の議会において行政改革は十分な検討はしていることであり、平成18年度からの行政プランに基づき、副課長で構成する行政改革検討委員会を設けて

議員

平成22年度体育大会開催予定は。

武廣町長

中止という報道が大きくなされたが、状況の変化で本年度は開催する事に決定しました。(最初は中止)

町民体育大会中止とは

答 笑顔が見られる大会にしたい



上峰町民体育大会

議員

本年度において賞品類は前年度分の在庫があり、予算も通常より少なくて済み町民延べ6千人ぐらいの方が参加され、年に1度しか友人と会えない大会を、町長だけの判断で中止することとは、町長方針の町民参加型として、唯一大規模参加である運動会を中止にされた考えを伺いたい。

武廣町長

催しを通じて、町民の皆さんが親睦、交流を深めるという観点が必要ということとは十分理解できるが、本年度については、催しがいやって本当に明るい笑顔があふれるイベントになればと思っています。

議員

開催後、近隣の交通量の問題・治安の問題点はどのように努力されていますか。江崎建設課長

最近までの開催に当たっては現地確認として目立った渋滞もなく、地元からの苦情など無いのが現状です。

議員

現地には警備員の方が深夜まで監視されており安全面、防犯面で以前より良くなったようですが。

武廣町長

今後、みやき町の町長を通じて防犯灯の設置などの要望を環境委員会に文書で提出していきます。

ボートピアの現状は

答 環境面の充実を図る

自主防災組織100%の実態は

答 今後、地区単位とした組織づくりを



原 禎 和 彦 議員

議員

施政方針で、災害時における共助の中核となる自主防災組織の活性化を図るとあるが、新聞報道にあった1組織100%の組織の現状と活動は。

江頭総務課長

全町を網羅した1組織として県に届を出しましたが、県から細部にわたっての組織とするように指導を受けています。今後、地区を単位として、区長さんを中心とした組織をつくり、皆さん方が中心になって自主的にいろんな面での支援、協力いただける体制づくりを各地区に広めたい。

消防車両の更新は

議員

平成19年議会において、平成21年度に本部車両1台平成23年度に各部の5台を更新計画をしていると聞いています。本部車両は更新されましたが、各部の車両更新は計画どおり実施できますか。

江頭総務課長

平成2年3月に各部に配置した積載車も20年経過していますが、大きな故障もなく実際の活動には支障がない状況です。最近、補助制度もなくなっている状況で財源確保が難しくなっております。積載車両1台500万円から600万円します。順次更新する計画を緻密に立てて今後対応していきます。



更新が待たれる消防車両

財政健全化計画は 平成22年度に作成

議員

平成21年度で終る行政改革大綱は切れることなく進めていくことが大事と考えます。今後の取り組みは。

江頭総務課長

行政改革プランは最大限の努力をして、平成22年度中にしなければ、財政計画の問題なども遂行できないので努力していきたい。

武廣町長

行政改革大綱、健全化に向けてのプランは平成22年度に実行していきたい。

議員

平成22年度予算から介護保険、ごみ処理場などの負担が増え続けますが最終ではいくらの増加になるか。また、第3セクター債1億5千万円の償還は。

北島企画課長

介護保険、ごみ処理、し尿処理関係で平成21年度と単純比較して、平成22年度1千25万4千円、平成23年度2千44万3千円、平成24年度4千26万8千円の増加になります。第3セクター

債は平成23年度から1千650万円の償還になります。

議員

今後、広域関係でも毎年負担金が増えてきます。

歳入面でも税収減が避けられないか「今、何をしなければならぬか」町の財政の厳しさが一番わかっているのは、課長の皆さんだと思います。職員の皆さんとともに行政改革、財政再建、機構改革に力を合わせて取り組めば、議会も町民も本当に協力は惜しみないと思います。健全な財政へ向けて町長の決意は。

武廣町長

今後、財調をしっかりとつくっていくために、検討委員会の議論になります。皆様から、さまざまな声を聞いて鋭意努力を進めていきます。

武廣町長

- ◇ほかに
- ・AEDの設置について
- ・機構改革について

中学校体育館南側の治水対策

答 早急に関係者と協議



井上 正宣 議員

元の方々と協議、および協力が必要と思います。雨期前に協議の場を設けて、少しでも被害が小さくなるよう検討します。

議員
前日も豪雨に見舞われたとき、東側住宅地一帯が浸水しているが、洪水調整を急ぐべきではないか

渡辺産業商工課長

ここ数年被害が起きています。原因として、外記のため池周辺などの開発により、雨水が流れ込んで、上流からの流量が多いため、下流側では越水して分譲地へ流れ、冠水している現状です。外記のため池など調整池として活用、その対策に水利関係者ならびに、地



中学校体育館南側



役場屋上サイレン

大字堤地区の緊急用防災サイレン

答 早急に対応

議員

消防団から請願が出ていますが、大字堤地区では、役場のサイレンが聞こえない

い。初期行動に支障をきたすが早期の対策を。

江頭総務課長

現在どういう方法がいいのか、消防署から自動的に役場と同時にサイレンを吹鳴できる装置がいいのか、消防署とともに調査中です。近隣の基山町の例も参考にしながら、対応をしていく考えです、経費も20万円前後かかると思われませんが、

一番良い方法で早急に対応しなければと思っています。

武廣町長

設置箇所の調査、設備のぐあい、経費の算定をした後に、厳しい財政状況の中、単年度でできるか考えながら、実施に向けて検討していきたいと思っています。

船石地区から堤地区への道路を町道認定へ

答 両地区の区長さんと協議

議員

船石地区から真つすぐ西の堤地区公民館へ通じる道路整備についてはどう考えていますか。

江崎建設課長

農道舗装については、農業農村整備事業管理計画があり、その路線について、管理計画に合わせながら、補助事業にのせて舗装をしていく計画です。また、町

の道路規則に照らし合わせ、両地区の区長さんと協議しながら町道認定として進めたいと思っています。

武廣町長

通行に不便が多く、補助対象として、農業農村整備事業管理計画がありますので今後、課長と相談しながら検討していきます。

健全な財政計画は

答 住民サービスの低下がないよう進める



岡 光廣 議員

議員
行財政再生委員会の名称変更「上峰町改革会議」にされていますが、実施計画の進捗状況は。

武廣町長

昨年年度から実施に向けて努力していますが、まだ検討中（進展なし）。

議員

昨年12月定例会後の進展は見られないが組織の改編・統廃合計画は。

武廣町長

行革検討委員会で協議する中で具体的に案は決まっていな。法的な側面も含めて検討する必要がある。機軸改革は安易にすぐ実行に移せると理解していましたが足りなかつたと反省しています。住民サービスの低下がないよう努め進めていきます。

議員

健全財政・行革計画の進展は。

武廣町長

平成21年度で改革大綱が切れるに伴い、プランを平成22年に作つていき、総合計画を作るために、平成22年・23年度で準備していきます。

議員

予算編成ゼロベース的な取り組みで進むと回答され

ていましたが、町長の予算編成上の現状は。

武廣町長

予算特別委員会で指摘された意向を反映した予算にすべしと判断した結果、前向きに努力していく。

議員

予算編成で、人件費・広域負担金・償還計画の取り組み状況内容は。

武廣町長

人件費の町長50%カットは基本的に私個人のことという事です。議会については、財政状況を示した後

に考えていただきたい。

広域負担金については、

極力町の負担、拠出をすくなくするよう努力をしていく。（償還計画は具体的に示されず。）

議員

償還残高の目標 平成21年度末見込み、95億1千100万円の見通しを今後2年間でどの程度まで公債費を下げていく計画ですか。

武廣町長

平成22年度末、未償還額合計88億4千万円・平成23年度末81億円と計画しています。

議員

経営基盤の確立、行財政を改革し維持可能な町として実現していくための施策は。

武廣町長

歳入増の取り組みには、税収を増やすこと、企業誘致などを図っていく、加速しながら企業誘致に取り組みしていきます。

議員

事業計画の中で、ホリカワ産業跡地の今後の取り組みは。

武廣町長

町有地になった後でも企業誘致を図っていく、魅力的な部分を示し取り組んでいきます。

議員

健全財政を配慮しつつ「町民サービス」の予算編成、質を落さず現状維持していく計画とは。

武廣町長

質を落さず町政運営を進めていくためには、皆様の声を聞きながら町の財政再建・健全化に向けて力を尽くしていくということです。

これからの町政運営は

答 企業誘致の積極的推進

常任委員会視察研修

平成22年1月20日および21日に、北海道栗山町議会と南幌町議会を訪問し、それぞれの町政運営や議会運営について視察研修しました。

全国初の議会基本条例を制定 栗山町議会 1月20日

議員基本条例とは？

地方分権が進むにつれ、地方議会の役割は広範囲となり、その責任の度合いも重くなっている。議会は執行機関の監視役としてだけ

でなく、その持てる権能を十分に駆使して、自治体事務の立案、決定、執行、評価における論点、争点を広く住民に明らかにする責務を有している。

議会基本条例とは、この



栗山町での研修

ような使命を達成するために不可欠な取組みについて明文化したもので、全国で100前後の自治体で制定されている。

栗山町議会は、平成18年に全国で初めて議会基本条例を制定し、条例に基づき次のような取組みを実施されています。

○町民や各種団体との意見交換のための議会主催による一般会議の設置

○重要な議案に対する議員の賛否を公表

○町民に対する議会報告会の開催

○議員の質問内容を明確にするために、町長や職員への反問権の付与

○議員相互間の自由討議の推進

上峰町議会においては、3月定例会で「議会基本条例検討特別委員会」を設置しました。

今後、これらの重要な取組みの導入に向けた調査、検討をおこないます。

単独自立の道を選択 南幌町 1月21日

平成21年3月、隣町との合併賛否を問う住民投票の結果、自立の道を選択した南幌町では同年5月に「南幌町の行財政を考える町民会議」を発足させ、5ヵ月におよぶ審議の末、町財政基盤の立て直しを目的とした「南幌町自立緊急実行プラン」が策定された。

このプランは平成25年度までに町財政を立て直すことを目的としており、67項目の行財政改革方針が盛り込まれている。その中には、

町民税などの税率アップ、下水道使用料金の引き上げ、各種証明発行手数料の見直しなど、住民への負担増となる項目が含まれるが、住民投票で単独自立の道を選んだからには応分の負担は仕方ないとの考えで、改革は進められている。

南幌町の財政状況を見ると、上峰町の状況と似通った点が多々あり、当町の行財政改革を進めるうえで参考となるものを得ることができた。



南幌町での研修

自治功労者表彰

議会議員在職11年以上の自治功労者として、佐賀県町村議会議長会表彰を受けられました。



左から伊東議員、吉富議長、岡副議長、井上議員

議会広報研修会

平成22年2月2日、県議長会主催の議会広報研修会が佐賀市自治会館で開催され、当町からも広報編集委員が参加し研修を受けました。

研修内容のうち広報クリニックでは、これまで上峰町議会が発行した議会たよりを熊本日日新聞社編集局の越地真一郎氏にプロの目線でチェックしてもらい、改善すべき点などアドバイスをもらいました。今後の紙面づくりに活かしていきたいと思えます。

訃報



(故) 松尾 仁 議員

町議会議員として活躍されていた、松尾仁議員が2月15日ご逝去されました。享年75歳。平成19年1月21日に議員就任以来、委員会では総務厚生常任委員会・議会広報編集委員会に所属され、町発展のため多方面で活動をされました。生前の議会活動に対する熱意、積極的な活動に心から感謝申し上げます、ご冥福をお祈りいたします。

新潟県聖籠町議会より来訪

(平成22年3月26日)

新潟県聖籠町議会の会派視察のため、本町議会に来訪されました。

聖籠町は本町と同様、合併せずに単独での町づくりを推進されており、町政運営における議会の取組や議会広報誌の編集などについて意見交換をおこないました。



元気

シリーズ①

(スポーツ少年団)
上峰少年剣道クラブ

次回は
男子パレ

代表 八谷日出夫
師範 井上 正宣
指導者 杠 茂喜
石松 裕邦
門岡 信
定松 廣大
合原 勝利
育成会長

今は亡き、少年剣道クラブの合瀬藤雄前会長の意志



を引き継ぎ「交剣知愛」・「負けてよし、勝つてなおよし」と教えをもとに指導をしています。
剣道の理念は人間形成の道であると言われていました。礼儀を重んじ、暑い日、寒い日、雨風の時も精神をきたえ、立派な社会人になれるよう頑張っています。

練習は厳しいですがパーベキューや北山キャンプ、お別れ会など、楽しいことも沢山あります。保育園、幼稚園から6年生まで週3回、火・木曜は小学校体育館、金曜日は武道館、時間は18時から19時30分まで練習をしています。

議会活動としての行事

	1 松田 俊和	2 原 植 和彦	3 松 尾 仁	4 漆 原 悦子	5 中 山 五雄	6 矢 動 丸 博文	7 井 上 正宣	8 伊 東 盛雄	9 岡 光 廣	10 吉 富 隆
成人式	1月10日	○	○	○	○	×	○	○	○	○
出初式	1月17日	○	○	○	○	×	○	○	○	○
全議員研修(1/20~1/22)		○	○	○	○	×	○	○	○	○
平成21年度町村議会議員研修会	1月25日	○	○	○	○	×	○	○	○	○
平成21年度町村議会広報研修会	2月2日	○	○	○	○	△	○	△	△	△
市町村行政講演会	2月4日	○	○	○	○	×	○	○	○	○
上峰幼稚園音楽発表会	2月14日	○	○	×	○	×	×	×	○	○
同和問題地区別研修講座	2月16日	○	○	△	○	○	○	○	○	○
上峰中学校卒業式	3月12日	○	○	△	○	○	○	○	○	○
北方領土返還要求佐賀県民集会	3月13日	○	○	△	○	○	○	○	○	○
上峰小学校卒業式	3月18日	○	○	△	○	×	○	○	○	○

○は出席 ×は欠席 △は別公務

あとがき

桜の花から新緑の季節と変わりゆく今日この頃、皆さんにおかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと思います。

4月は入園式・入学式・入社式と人生最大の交換期ですね。生活環境の変化は人生のなかでの貴重な経験であります。若い人たちは、大変な時期でもあり、ますが多少の不安と、将来への希望を持って、人生を前進していけることでしょう。

私たち大人の世界は報道によると色々といいますが、厳寒の冬を我慢して迎えた新春を力強く、明るく、楽しく新年度を踏み出して行こうでは、ありませんか。

議会は、町民の皆様と共に創意工夫を図りながら行政改革、福祉の充実に努めてまいります。皆様のご指導ご鞭撻、よろしくお願ひ申し上げます。

議会だより

広報編集委員会

委員長 漆原悦子

委員 松田俊和

委員 井上正宣

委員 原植和彦